

景気動向調査結果

(令和3年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 3 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 3 年 2 月に面接等によるヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、458 社（製造業 238 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 220 社）で、回答率は 65.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和3年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられます。

製造業の業況は、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少などがみられ、10期連続のマイナス水準となっているものの、電機・電子や自動車部品などで持ち直しの動きがみられます。

非製造業の業況は、建設業などで改善しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により飲食業や宿泊業などで悪化し、全体では3期ぶりの悪化となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和2年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 29.3$ となり、前回調査時（令和2年10月）の $\Delta 53.7$ から24.4ポイント改善したものの、10期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和2年10月）と比較したD Iは10.2となり、前回調査時の12.5より2.3ポイント悪化したものの、2期連続のプラス水準となりました。

また、3か月後（令和3年4月）の予想では、D Iは $\Delta 0.4$ となり、11期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、テレワーク向け需要が引き続きみられるものの、価格競争などにより、受注、生産が弱含んでいます。プリンターは、国内外におけるテレワーク需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。半導体関連は、国内外の半導体需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が堅調に推移しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連向けでは設備投資需要が一巡しつつあることから、一部で受注、生産に一服感がみられます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産に持ち直しの動きがみられます。建設機械は、国内向けでは、公共工事向けの需要の増加により受注、生産に持ち直しの動きがみられます。北米や欧州など海外向けでは、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いていることによる需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が減少しています。レンズは、自動車関連向けで持ち直しの動きがみられるものの、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産に弱さがみられます。計器では、圧力計は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、産業機械向けで、設備投資に慎重な動きもみられたことから受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、EV向け部品を中心とした国内外の需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

オ 食料品では、味そは、外出機会の減少による家庭用需要の増加がみられるものの、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒やワインでは、外出機会の減少による業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は外出機会の減少や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が26.1%と前回(18.2%)より増加し、「減少」とする企業が49.6%と前回(62.0%)より減少した結果、D Iは前回(△43.8)より改善し、△23.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が32.8%と前回(38.0%)より減少し、「減少」とする企業が26.8%と前回(20.7%)より増加した結果、D Iは前回(17.3)より悪化し、6.0となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.5%、「減少」とする企業が20.9%となった結果、D Iは△0.4となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が24.1%と前回(15.9%)より増加し、「減少」とする企業が51.5%と前回(64.4%)より減少した結果、D Iは前回(△48.5)より改善し、△27.4となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が33.3%と前回(38.9%)より減少し、「減少」とする企業が26.9%と前回(25.1%)より増加した結果、D Iは前回(13.8)より悪化し、6.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が25.0%、「減少」とする企業が19.8%となった結果、D Iは5.2となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が10.2%と前回(7.9%)より増加し、「安い」とする企業が13.6%と前回(17.4%)より減少した結果、D Iは前回(△9.5)より改善し、△3.4となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が3.8%と前回(3.7%)とほぼ同じとなり、「安い」とする企業が4.3%と前回(5.0%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△1.3)よりやや改善し、△0.5となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が3.0%、「安い」とする企業が7.8%となった結果、D Iは△4.8となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が11.4%と前回(7.6%)より増加し、「苦しい」とする企業が19.7%と前回(31.4%)より減少した結果、D Iは前回(△23.8)より改善し、△8.3となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が8.8%と前回(8.9%)とほぼ同じとなり、「苦しい」とする企業が12.3%と前回(14.0%)より減少した結果、D Iは前回(△5.1)より改善し、△3.5となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が8.9%、「苦しい」とする企業が16.0%となった結果、D Iは△7.1となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が23.2%と前回(15.3%)より増加し、「低下」とする企業が40.9%と前回(49.6%)より減少した結果、D Iは前回(△34.3)より改善し、△17.7となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が15.3%と前回(20.3%)より減少し、「低下」とする企業が23.3%と前回(21.2%)より増加した結果、D Iは前回(△0.9)より悪化し、△8.0となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が14.1%、「低下」とする企業が23.1%となった結果、D Iは△9.0となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、テレワーク向け需要が引き続きみられるものの、価格競争などにより、受注、生産が弱含んでいます。

プリンターは、国内外におけるテレワーク需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

(抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が堅調に推移しています。

(モーター等) 航空機向けでは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少により受注、生産が弱含んでいるものの、産業用途、自動車関連向けで持ち直しの動きがみられます。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注、生産が持ち直しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連向けでは設備投資需要が一巡しつつあることから、一部で受注、生産に一服感がみられます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(金型) 国内需要の減少などにより受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連の海外向けで持ち直しの動きがみられます。

(建設機械) 国内向けでは、公共工事の需要の増加により受注、生産に持ち直しの動きがみられます。北米や欧州など海外向けでは、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いていることによる需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(農業用機械等) 一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、国内需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

精 密 (時 計)	腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が減少しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで持ち直しの動きがみられるものの、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産に弱さがみられます。
(計 器)	圧力計は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、産業機械向けで、設備投資に慎重な動きもみられたことから受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。
自 動 車 部 品	EV向け部品を中心とした国内外の需要の増加により、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。
食 料 品	
(味 そ)	外出機会の減少による家庭用需要の増加がみられるものの、季節的要因により、3カ月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒 類)	清酒やワインは、外出機会の減少による業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。
(飲 料)	外出機会の減少や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。
繊 維 ・ 衣 服	季節的要因や外出機会の減少により受注が弱含んでいます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が減少しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで持ち直しの動きがみられるものの、受注、生産が弱含んでいます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和2年1月）と比較したD Iは $\Delta 54.8$ となり、前回調査時（令和2年10月）の $\Delta 31.6$ より23.2ポイント悪化し、3期ぶりの悪化となりました。

3か月前（令和2年10月）と比較したD Iは $\Delta 56.4$ となり、前回調査時の8.3より64.7ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和3年4月）の予想では、D Iは $\Delta 28.1$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、民間工事は新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資の延期や見直しなどで受注が伸び悩んだものの、公共工事は災害復旧に伴う土木工事など安定した工事量が続いたことから、売上高D I、販売価格D Iが改善し、業況D Iは3.1と前回（ $\Delta 3.1$ ）より改善し、5期ぶりのプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 12.9$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワーク関連などのクラウドサービスの需要が増加したものの、企業のシステム投資に対する動きは慎重な姿勢がみられたことから、受注件数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 27.3$ と前回（ $\Delta 10.0$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 20.0$ です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の増加もあり、食料品は総じて堅調だったものの、客数は感染防止に伴う外出控えにより減少したことから、客数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 63.1$ と前回（ $\Delta 31.7$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 40.3$ です。

エ 卸売業

卸売業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、食料品卸などは観光、外食関連向けの需要が減少したものの、医療関連卸などでは感染対策に伴う需要が増加したことから、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 19.1$ と前回（ $\Delta 47.7$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 9.5$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出控えなどで需要が減少したことに加え、GoTo トラベルの停止による観光客などの利用が減少したことから、客数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 100.0$ と前回（ $\Delta 52.4$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 24.0$ です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うGoTo トラベルの停止などで宿泊客が減少したほか、スポーツイベントの中止などにより団体利用が減少したことから、客数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 100.0$ と前回（ $\Delta 53.3$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 12.5$ です。

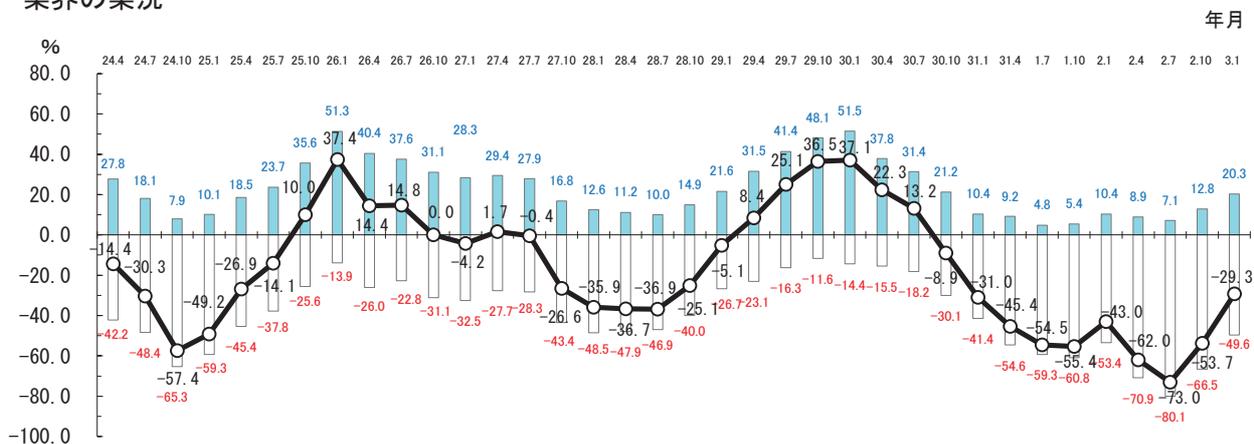
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

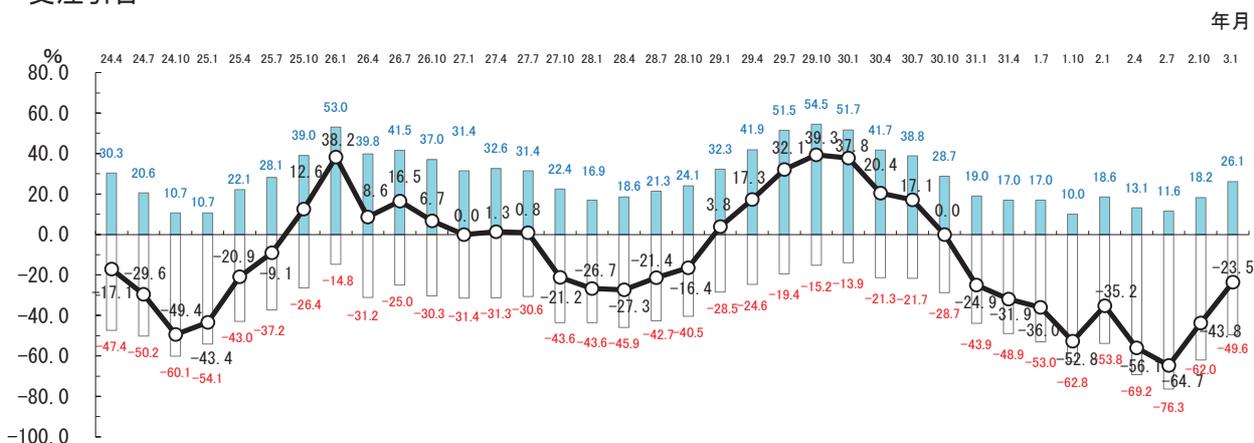
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

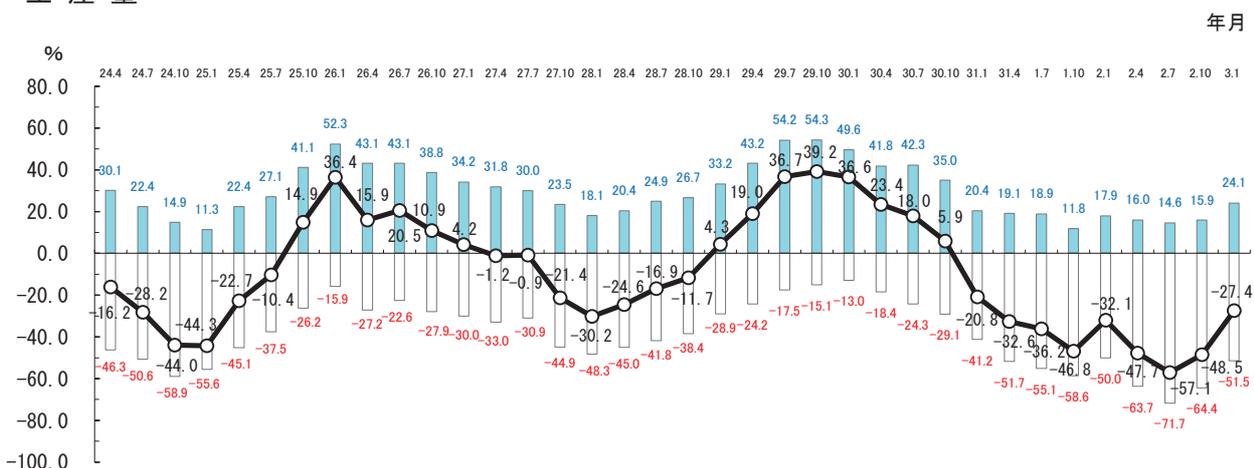
業界の業況



受注引合

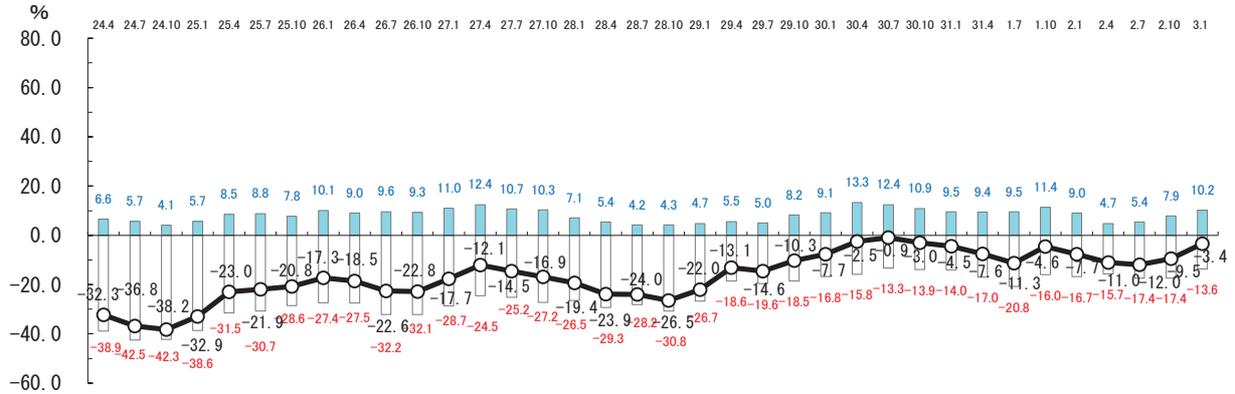


生産量



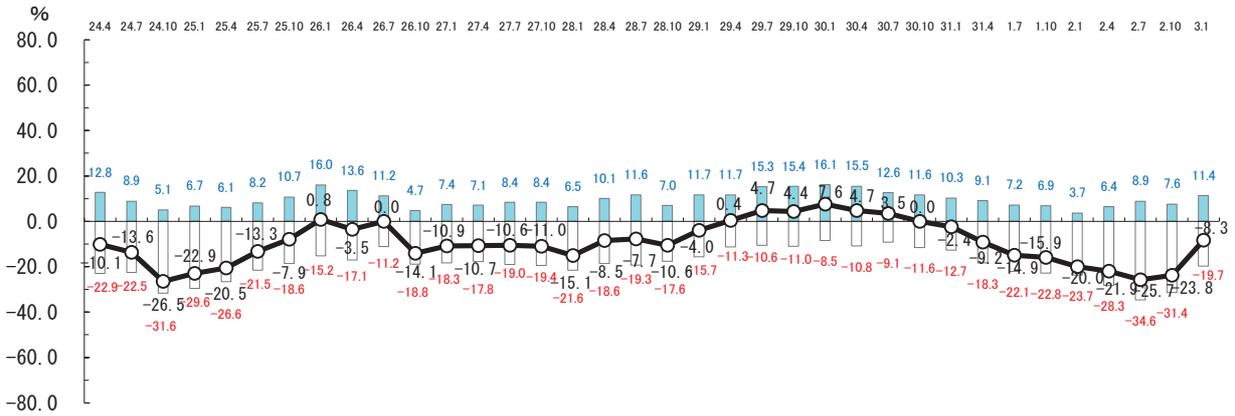
製品販売価格

年月



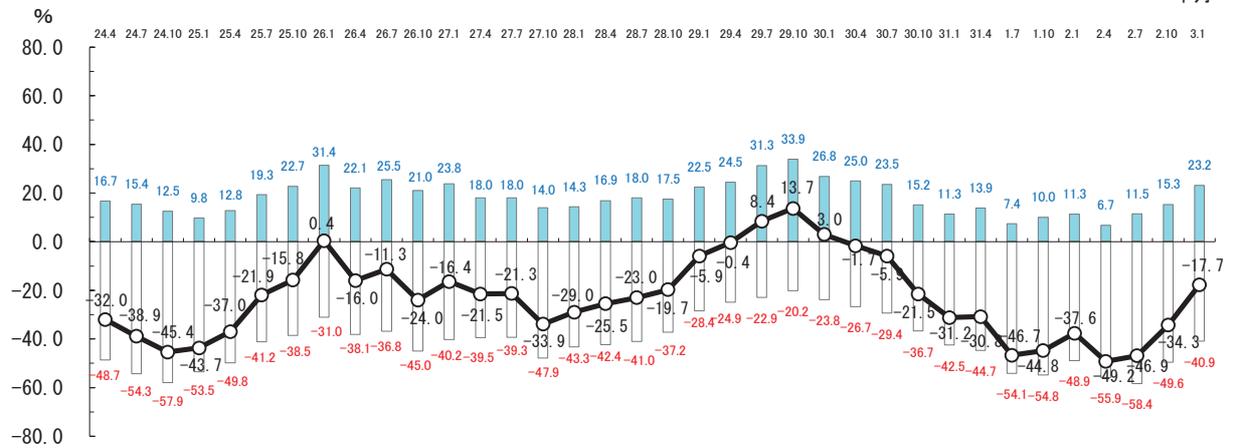
資金繰り

年月



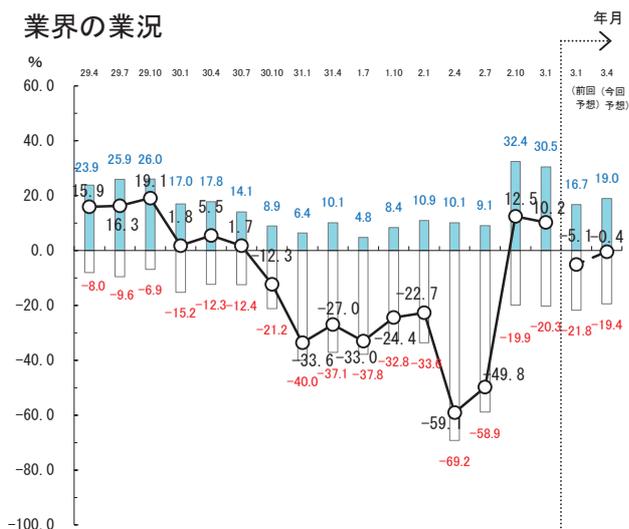
収益率

年月

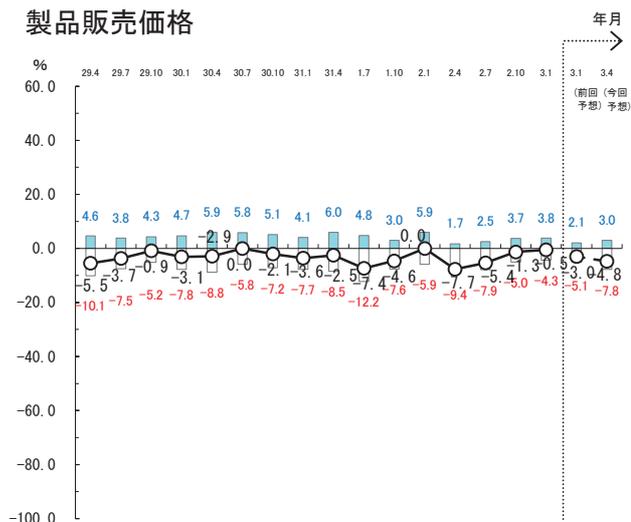


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

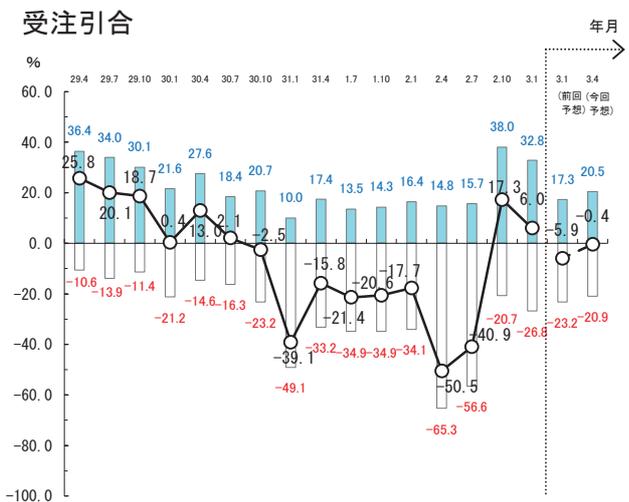
業界の業況



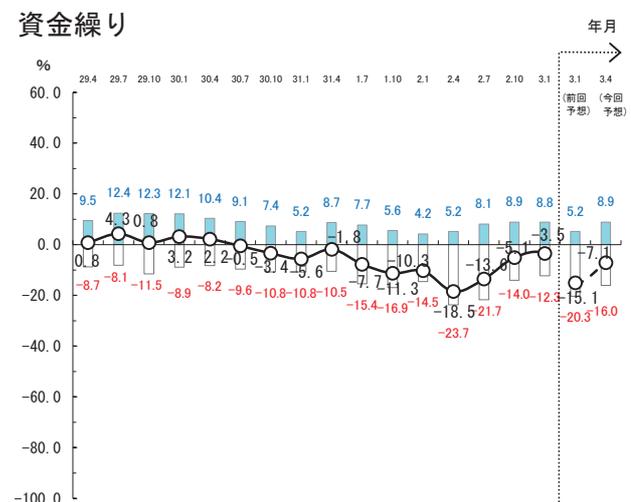
製品販売価格



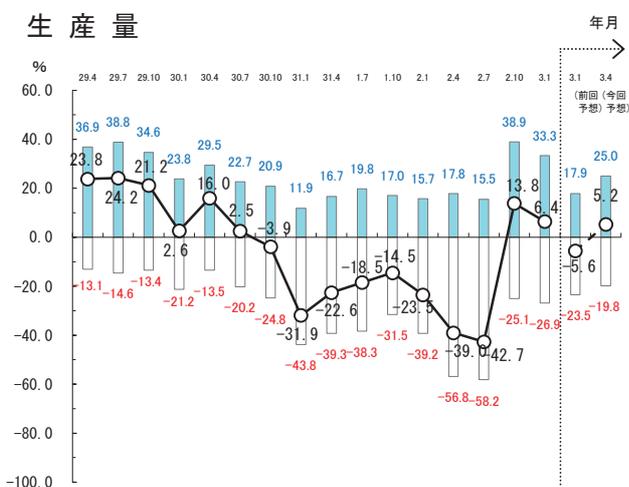
受注引合



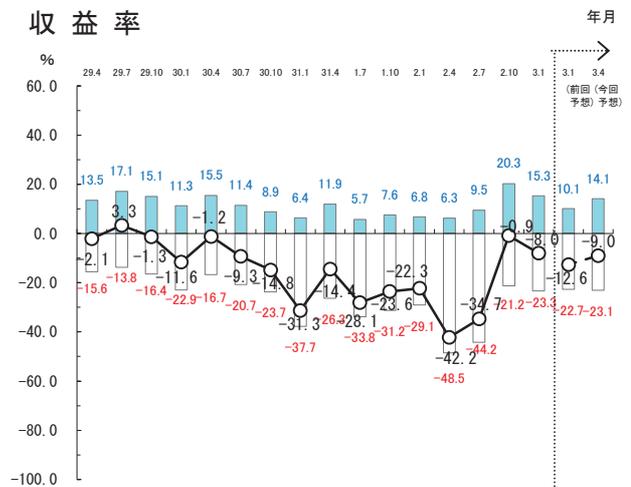
資金繰り



生産量



収益率

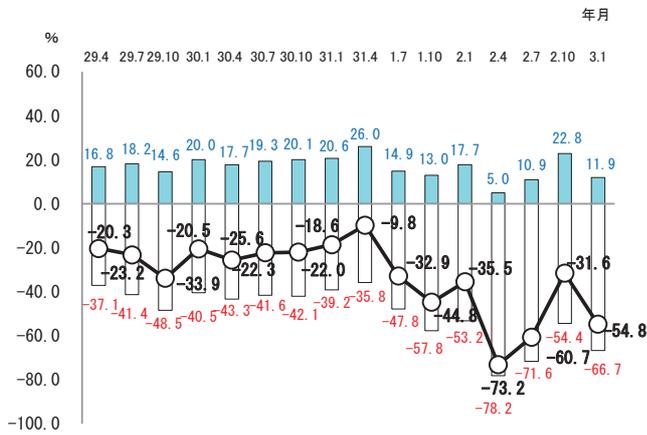


2 非製造業

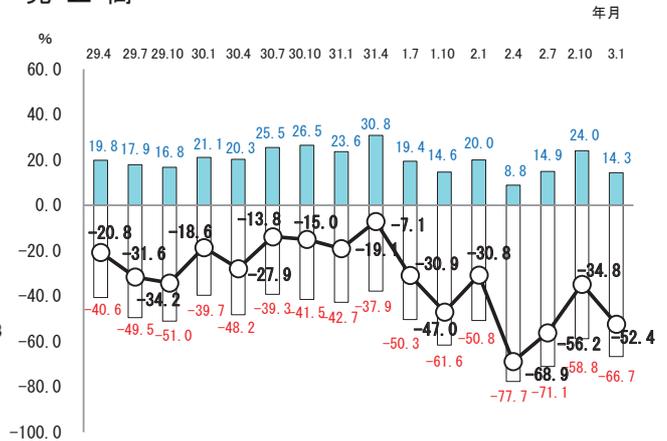
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

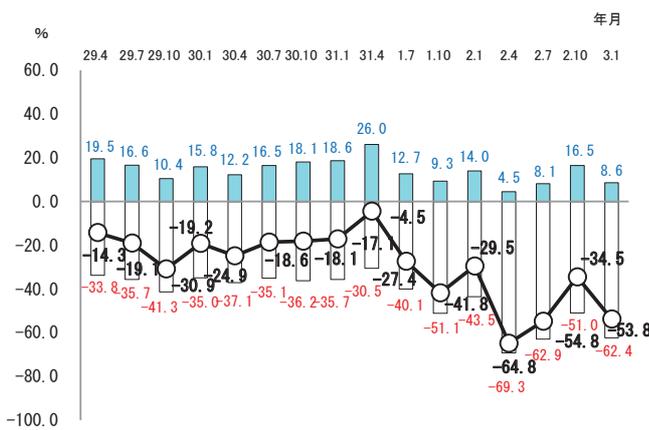
業況



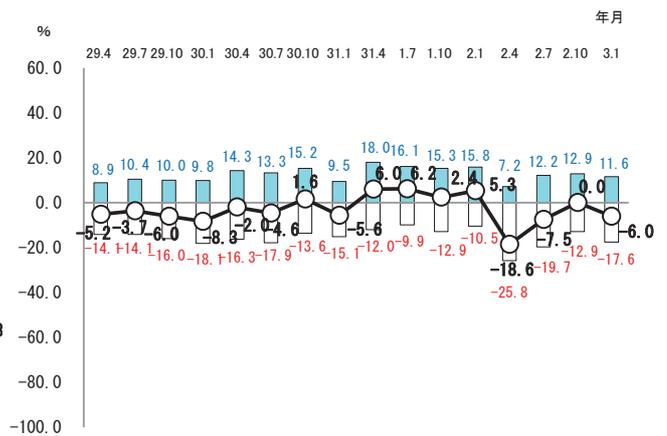
売上高



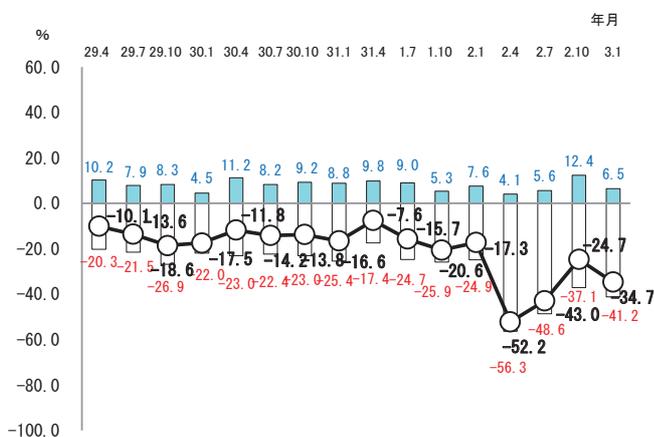
客数 (受注件数・取引先数)



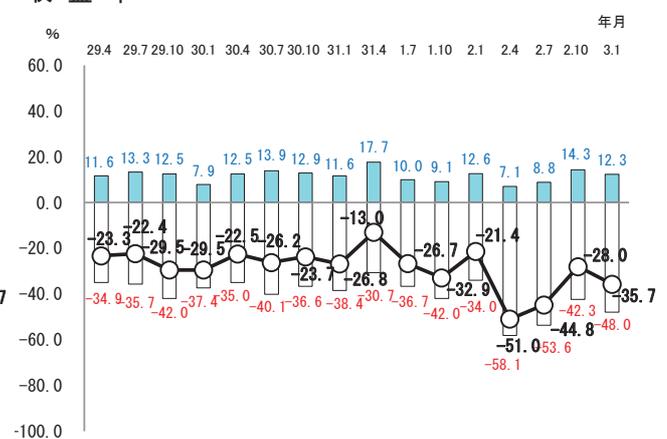
販売価格



資金繰り

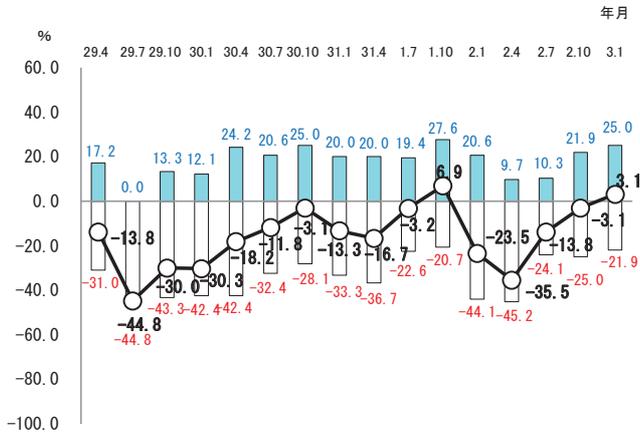


収益率

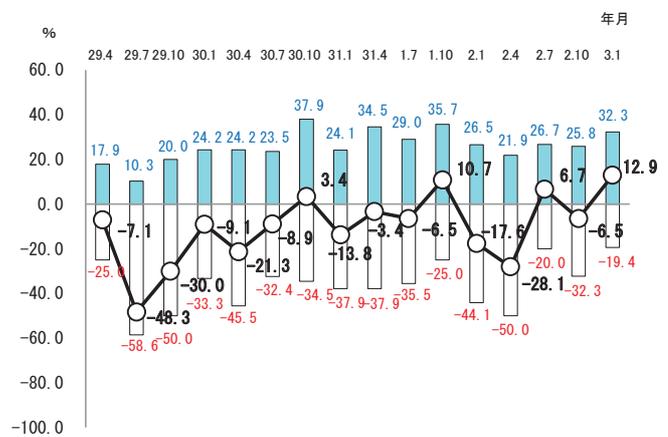


ア 建設業

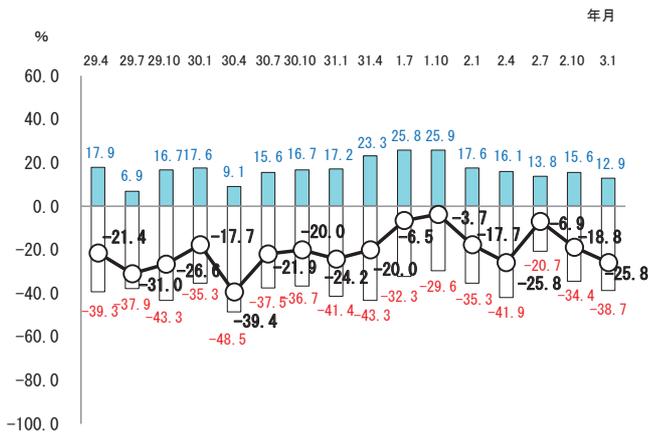
業況



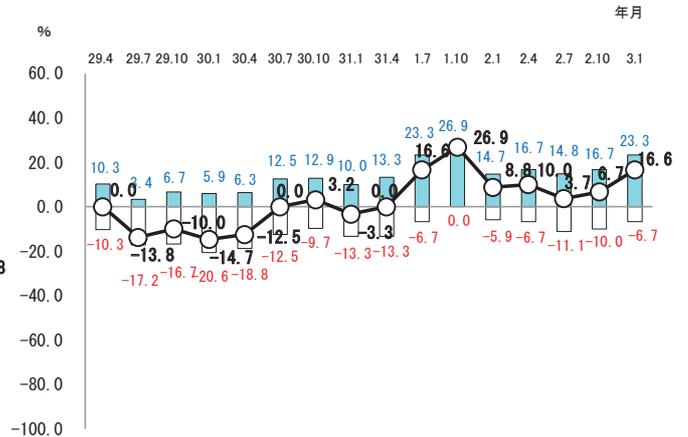
売上高



客数 (受注件数)

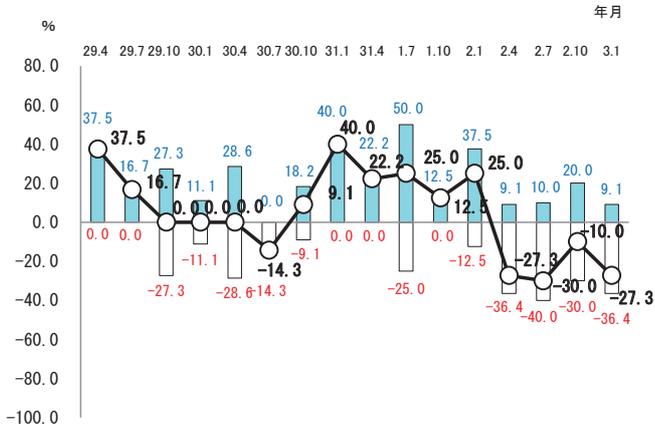


販売価格

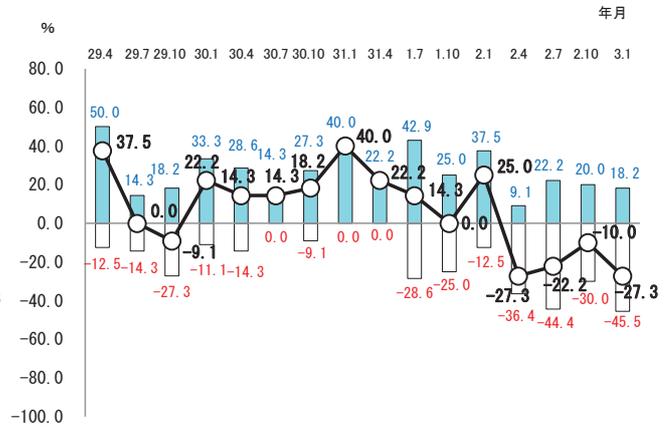


イ 情報サービス業

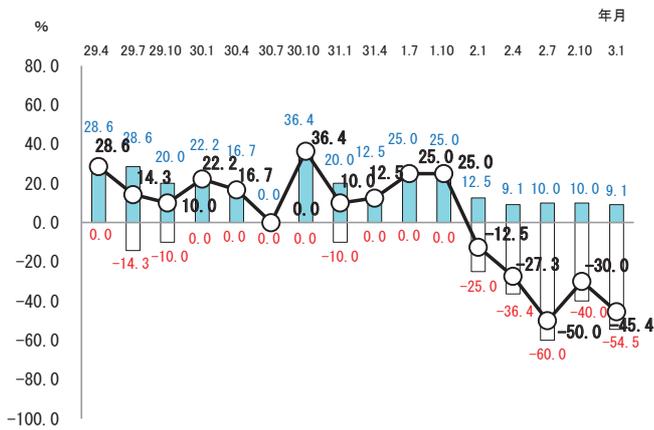
業況



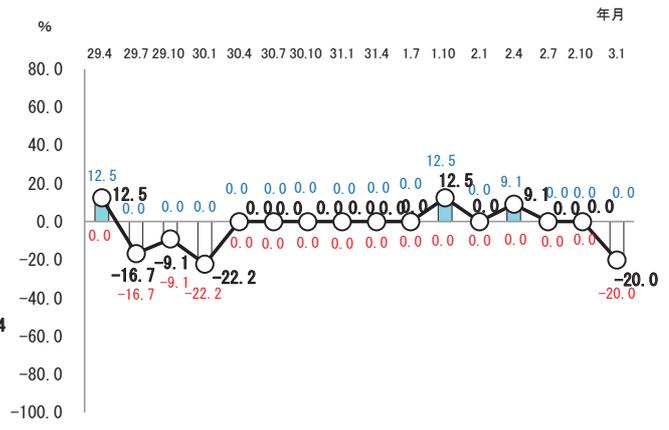
売上高



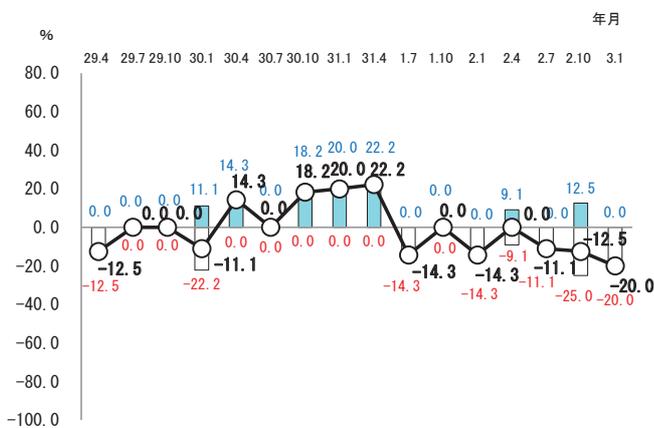
客数 (受注件数)



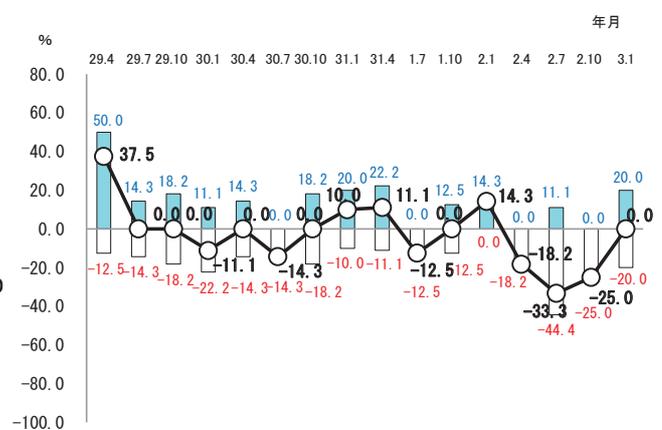
販売価格



資金繰り

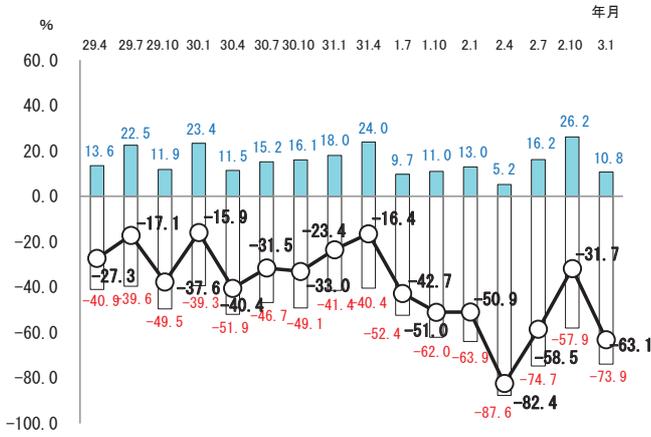


収益率

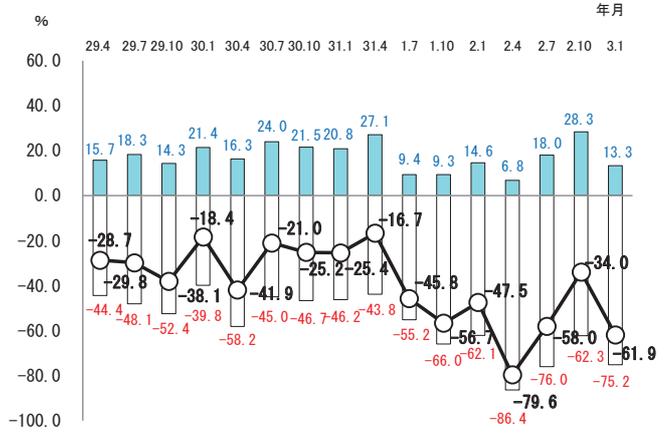


ウ 小売業

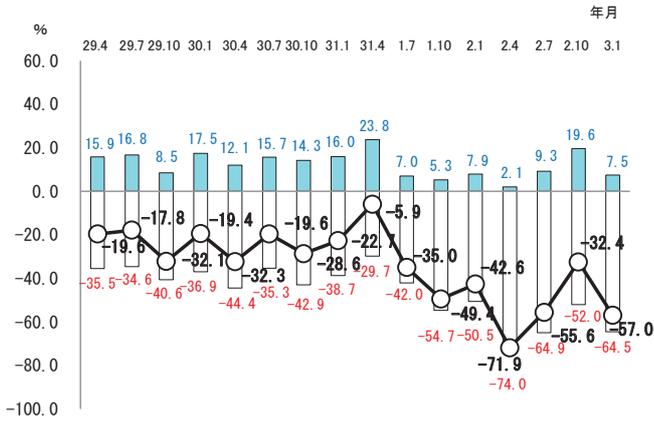
業況



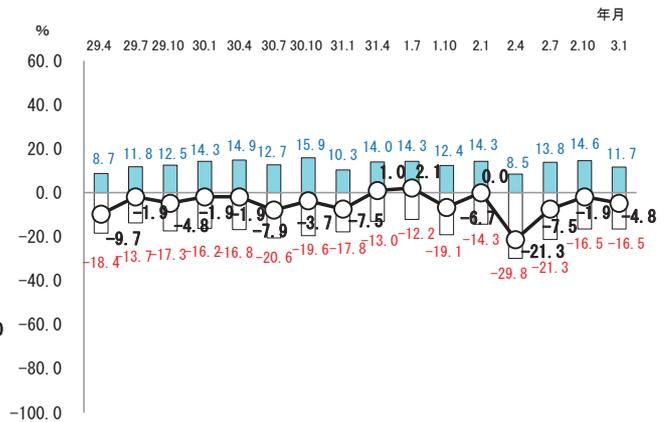
売上高



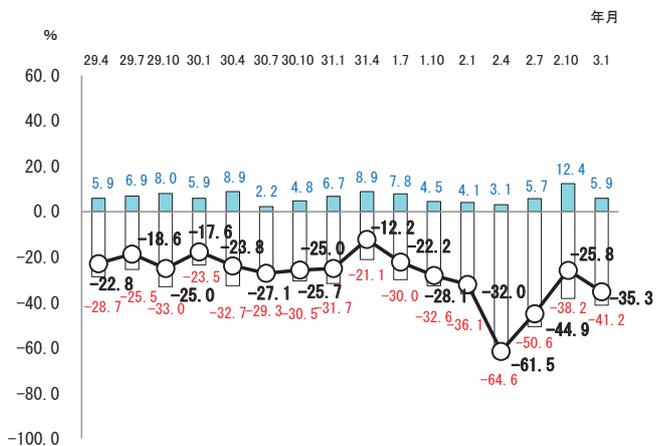
客数



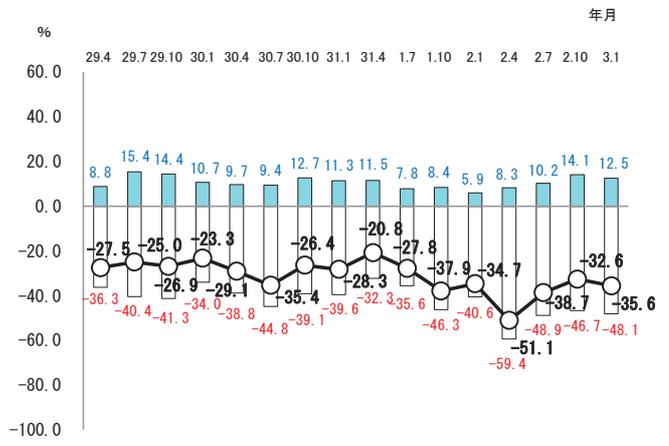
販売価格



資金繰り

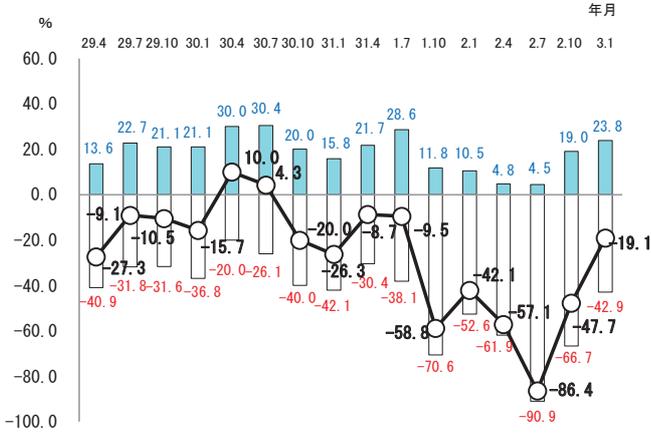


収益率

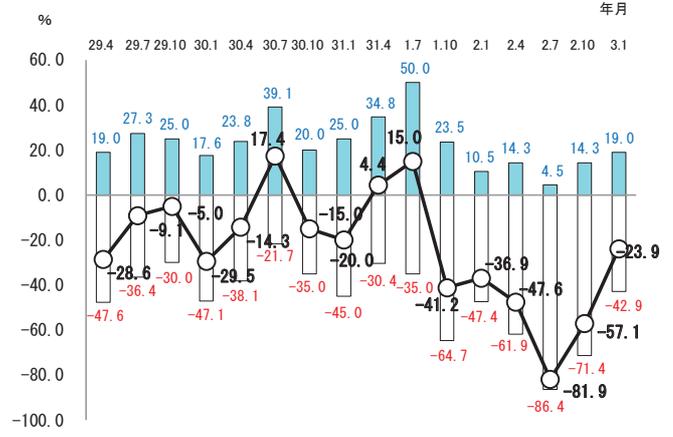


工 卸売業

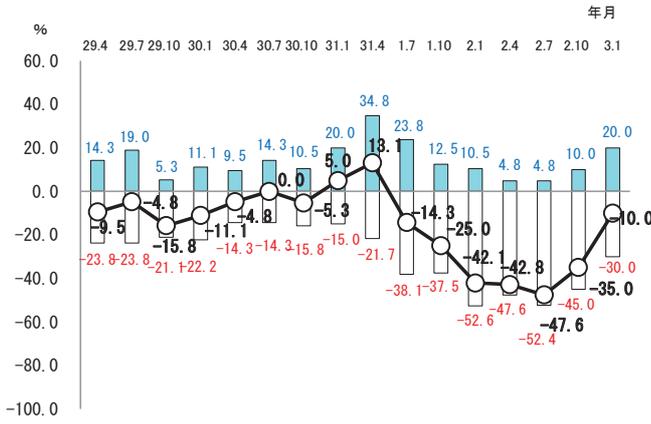
業況



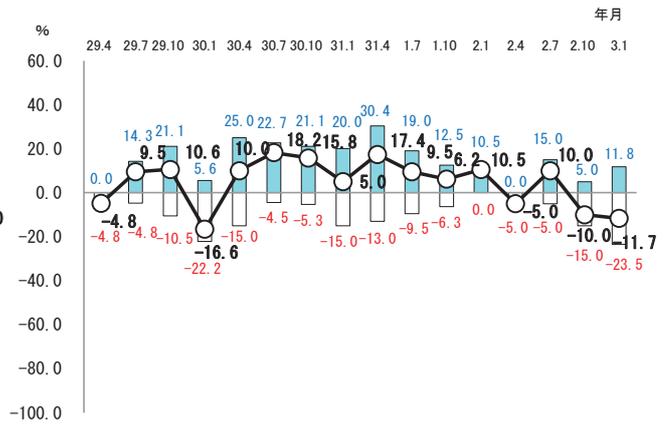
売上高



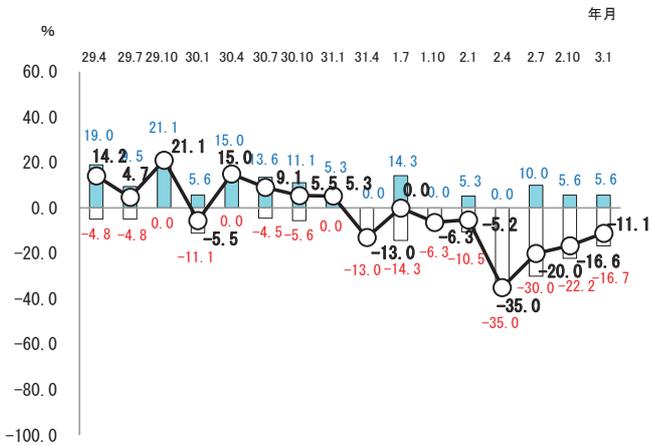
客数 (取引先数)



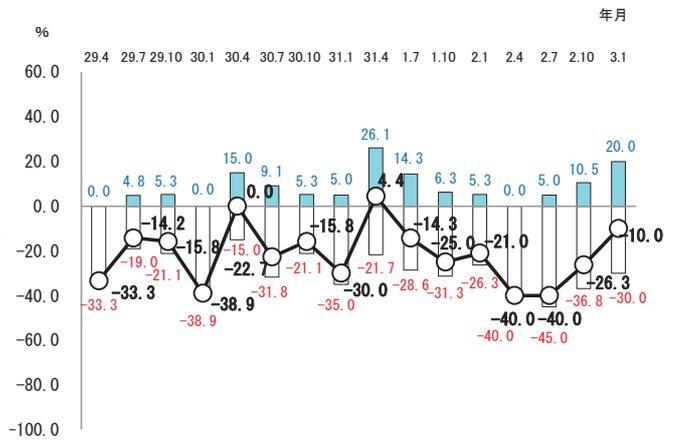
販売価格



資金繰り

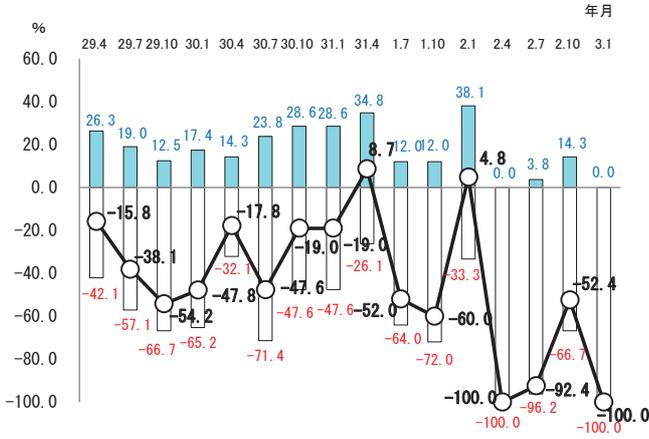


収益率

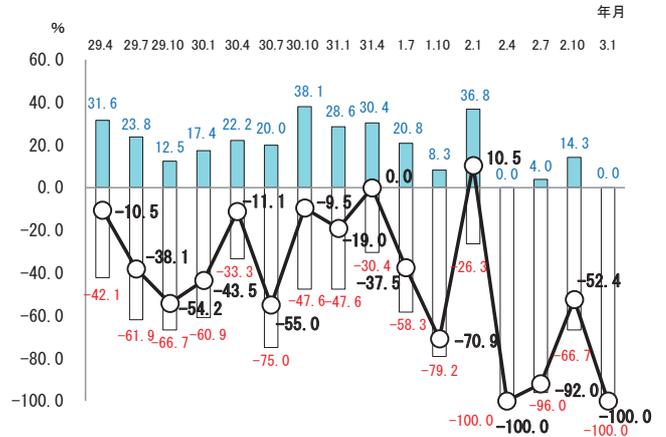


才 飲食業

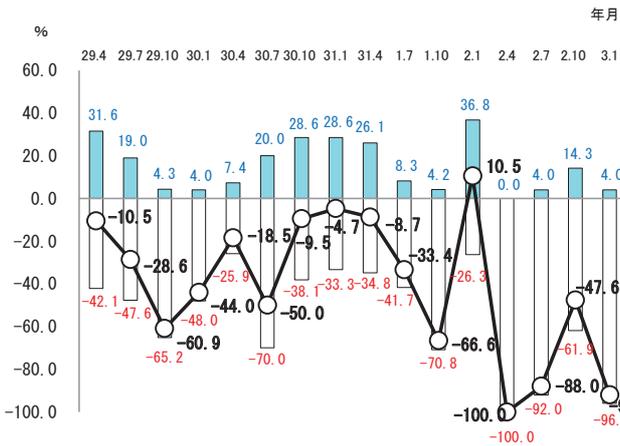
業況



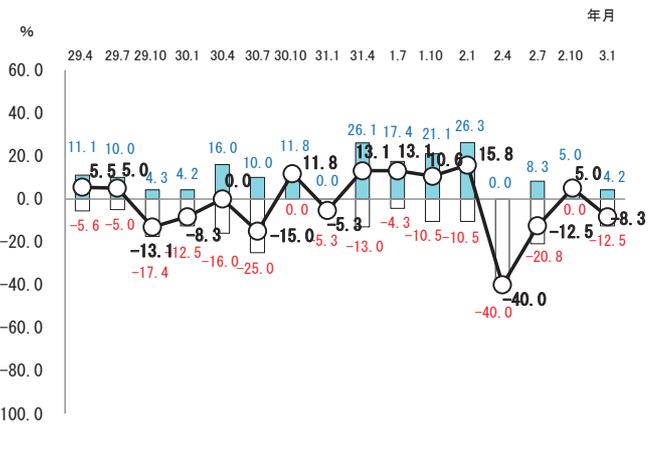
売上高



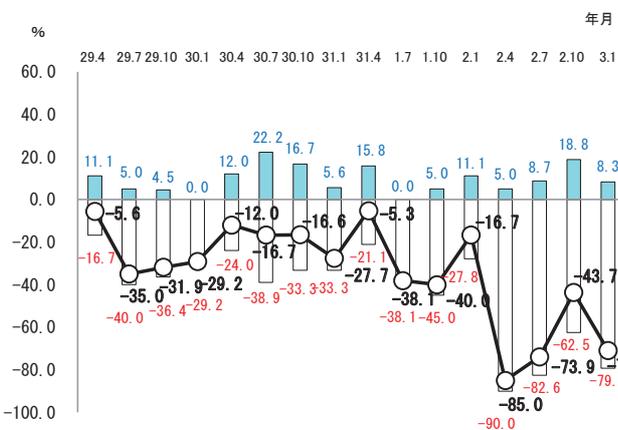
客数



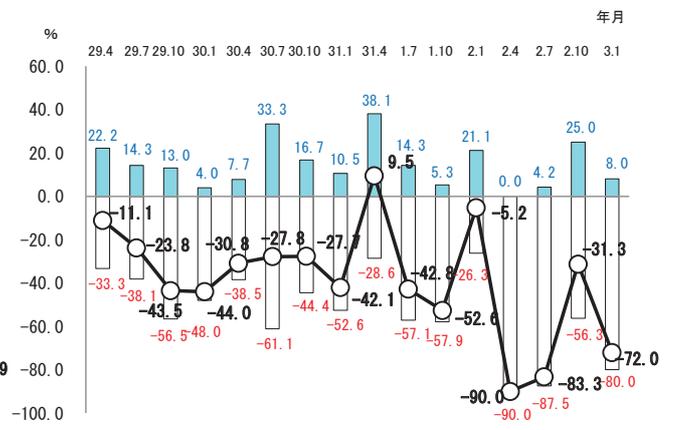
販売価格



資金繰り

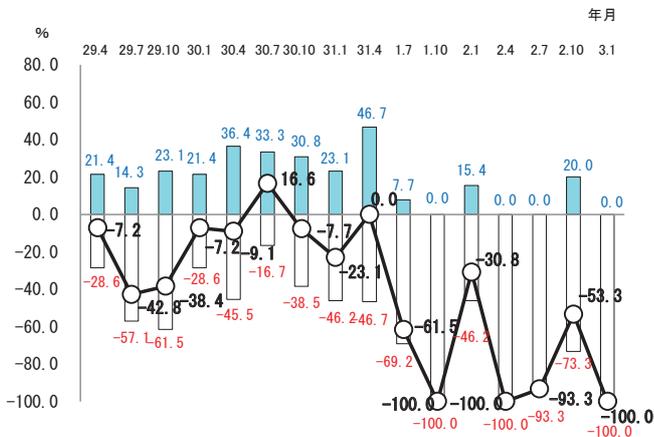


収益率

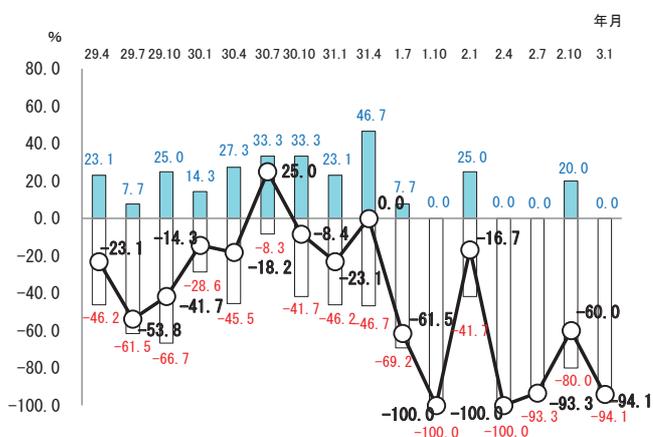


力 宿泊業

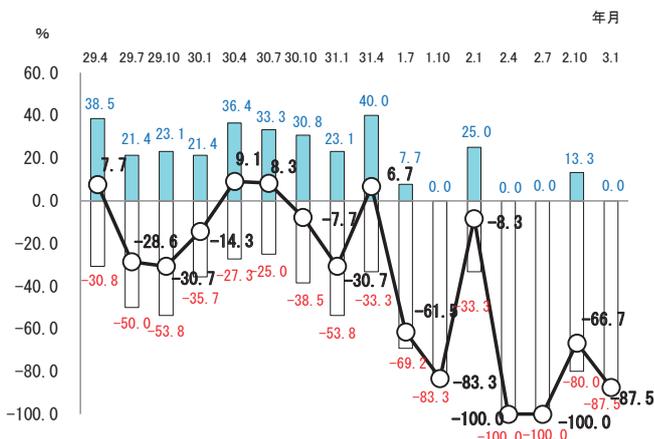
業況



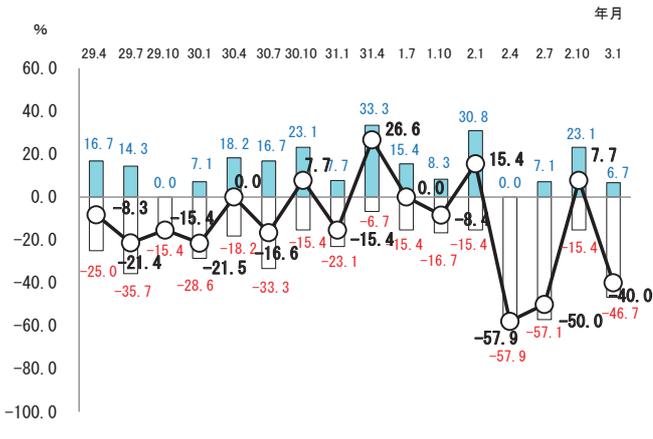
売上高



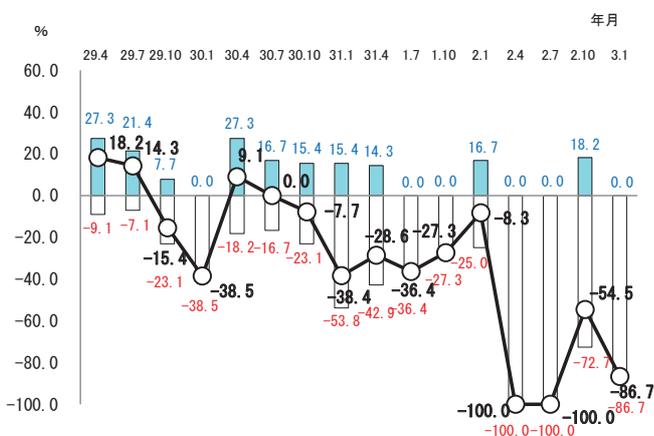
客数



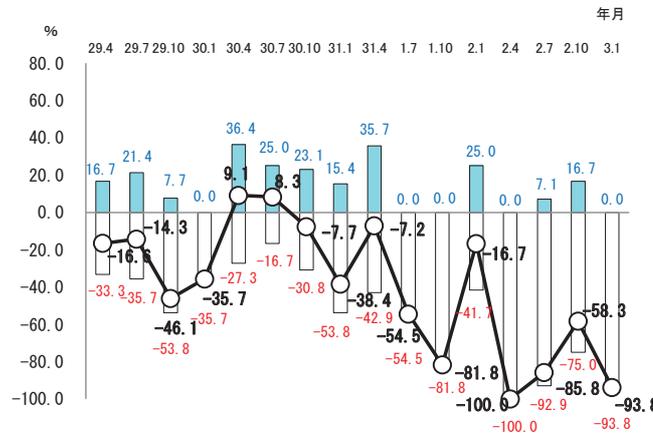
販売価格



資金繰り



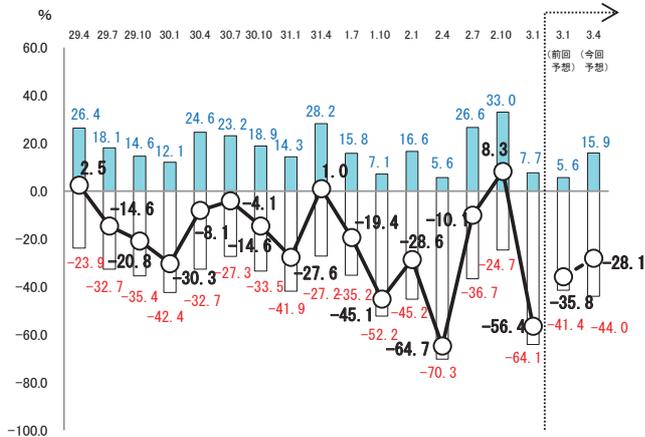
収益率



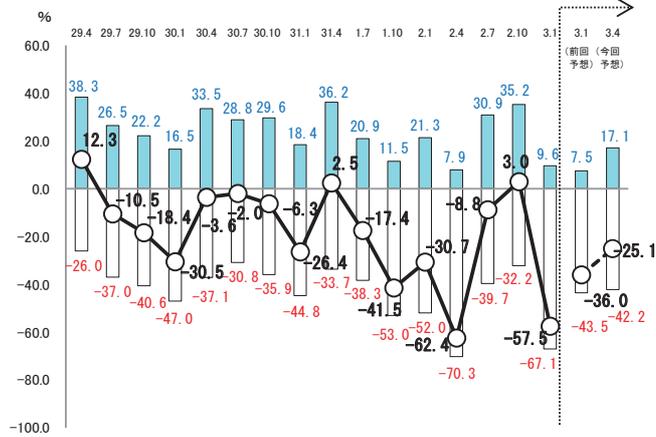
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

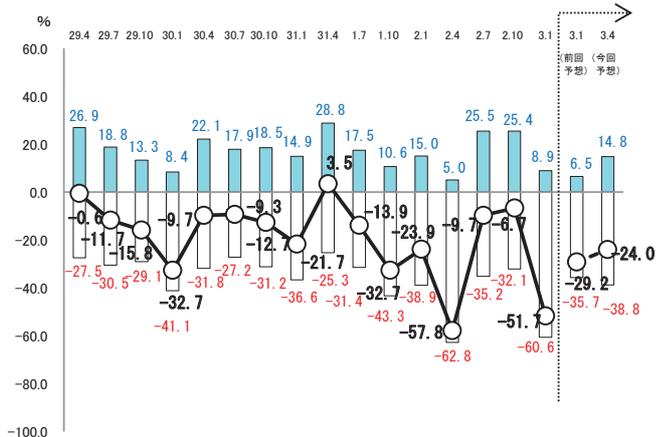
業況



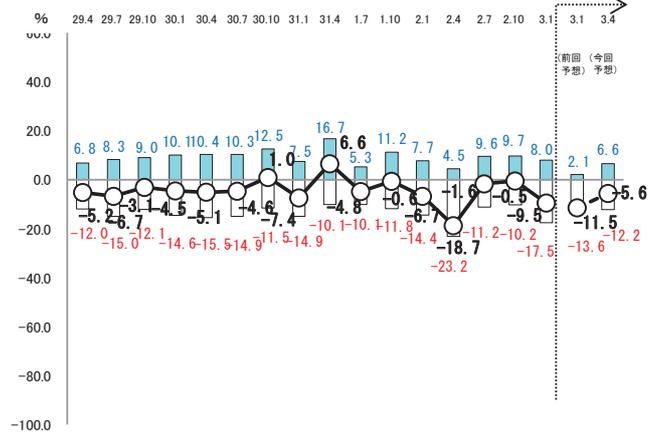
売上高



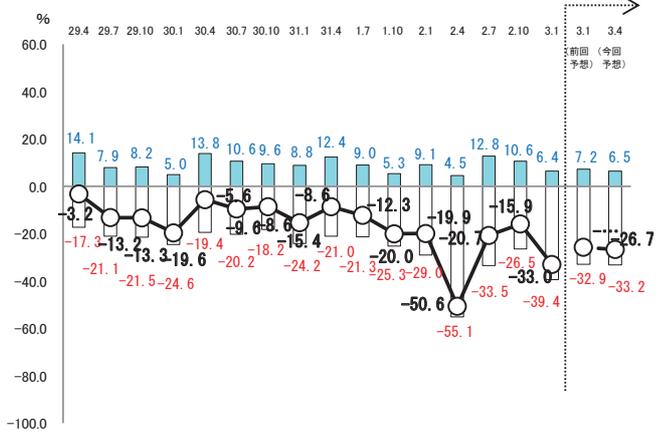
客数 (受注件数・取引先数)



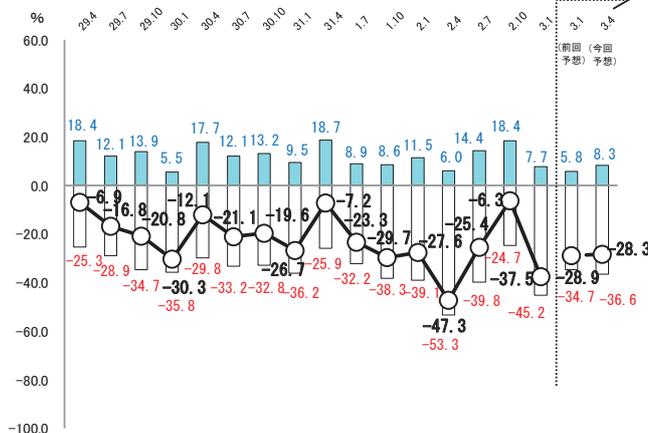
販売価格



資金繰り

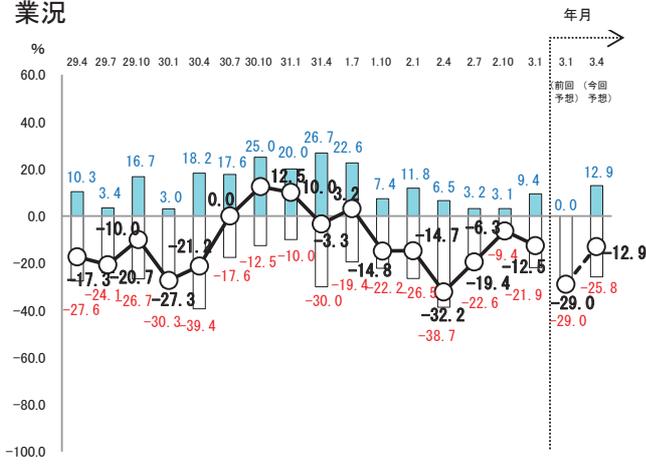


収益率

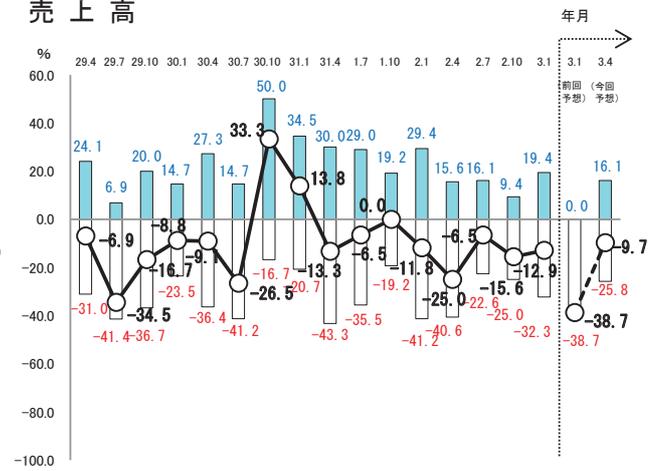


ア 建設業

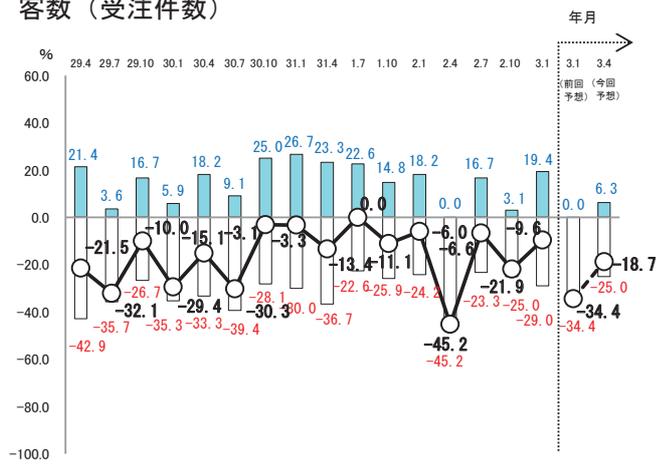
業況



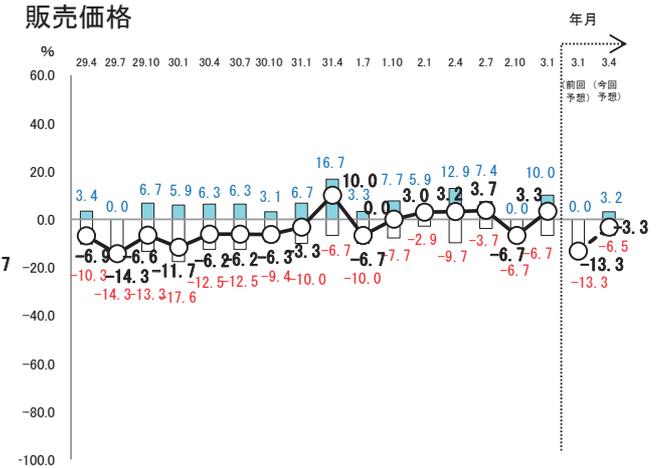
売上高



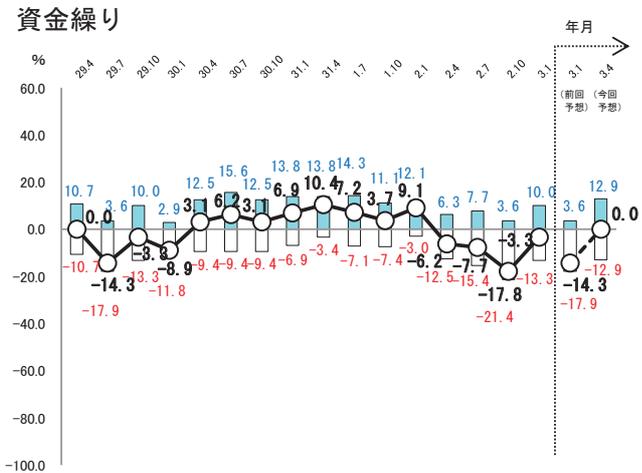
客数 (受件数)



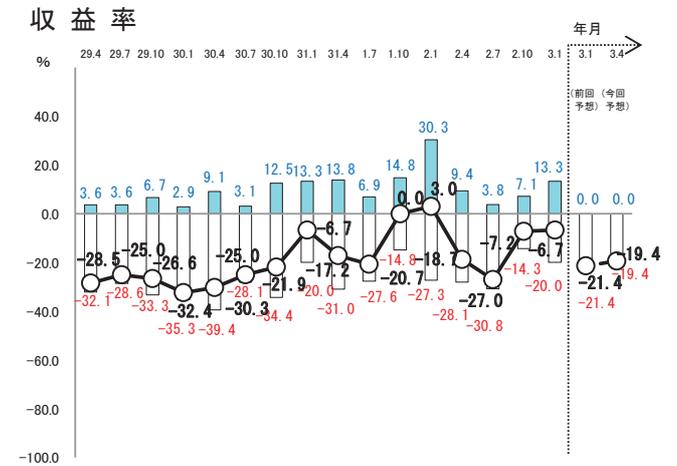
販売価格



資金繰り

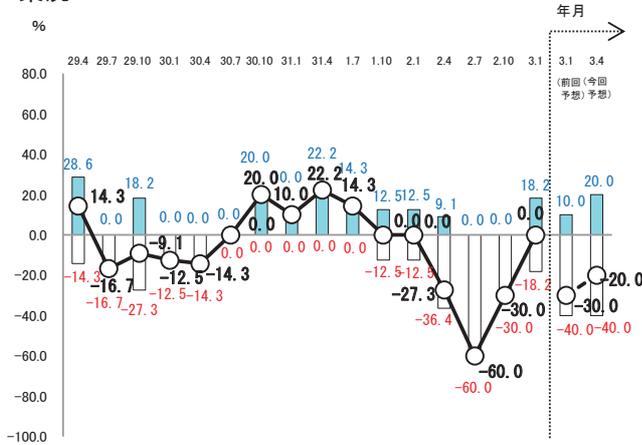


収益率

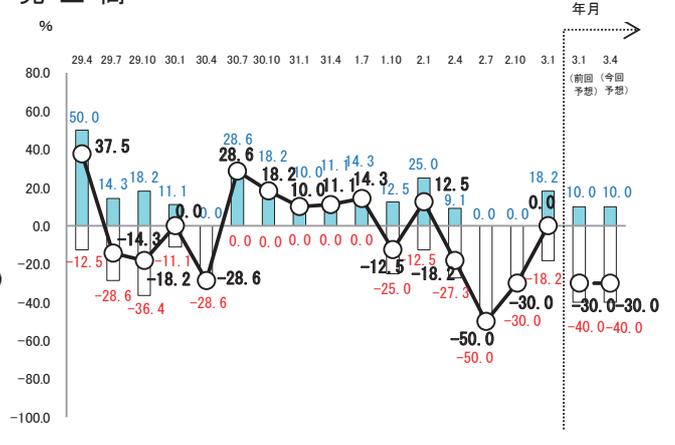


イ 情報サービス業

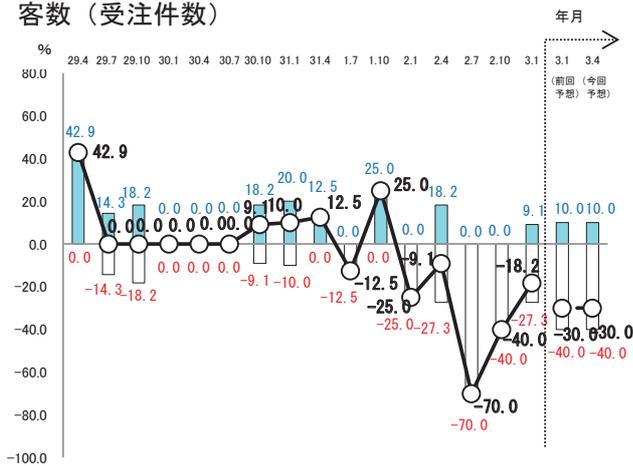
業況



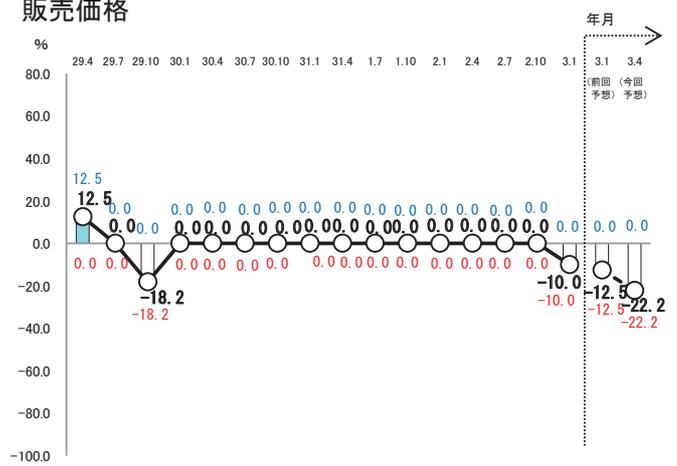
売上高



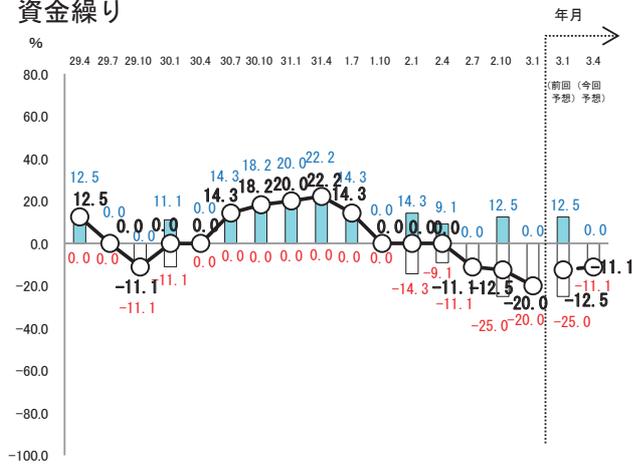
客数 (受件数)



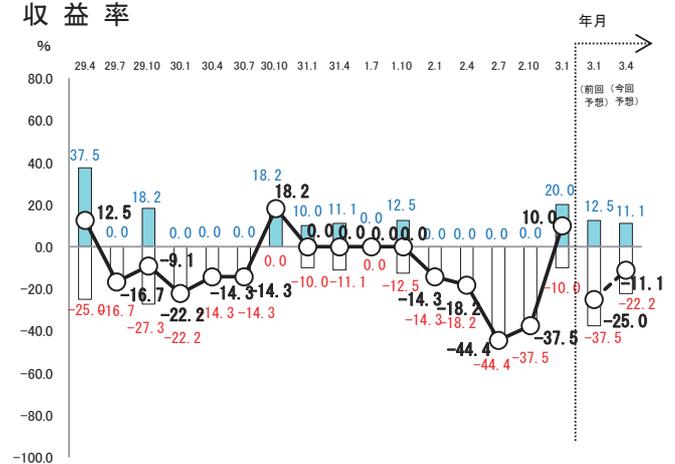
販売価格



資金繰り

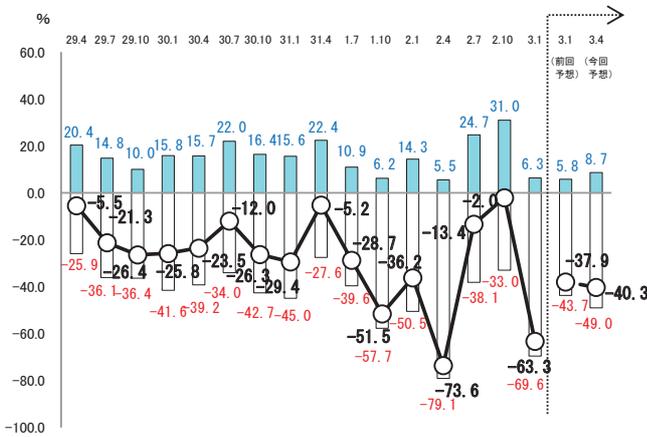


収益率

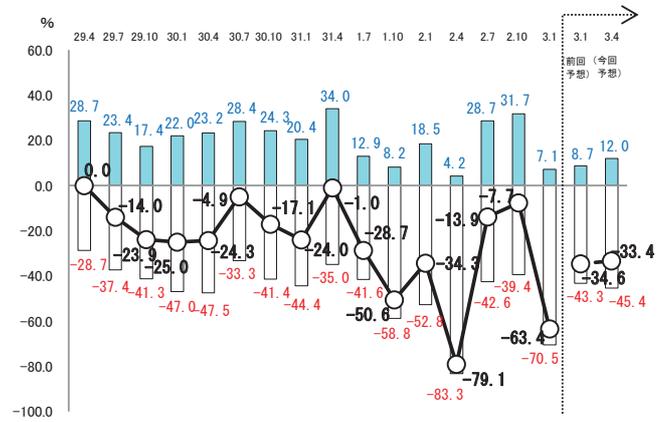


ウ 小売業

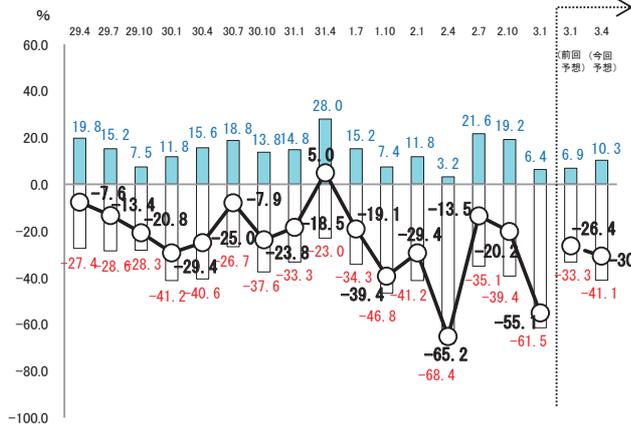
業況



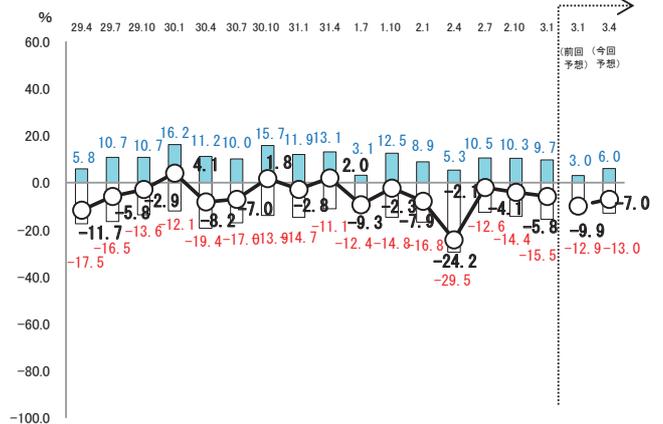
売上高



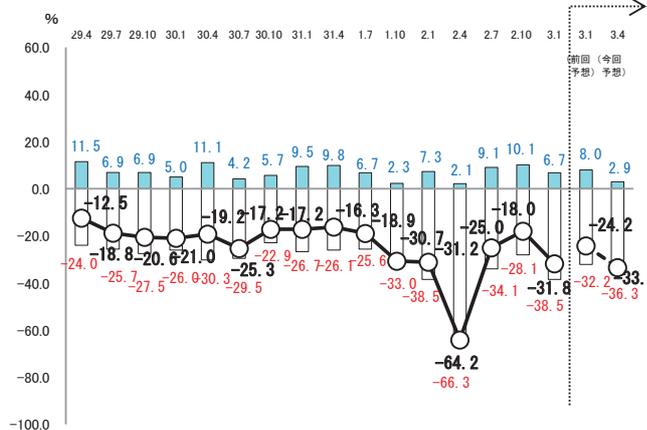
客数



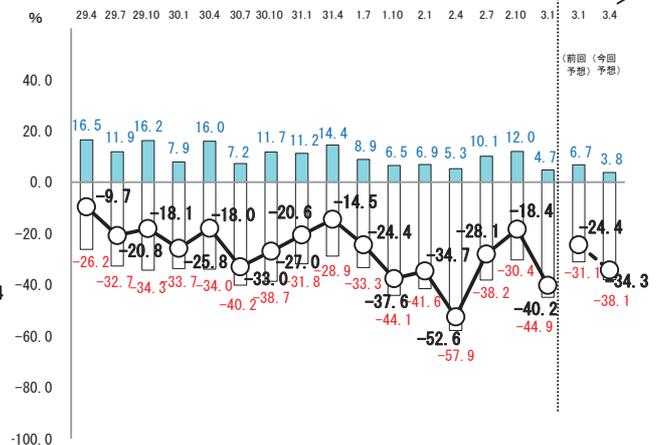
販売価格



資金繰り

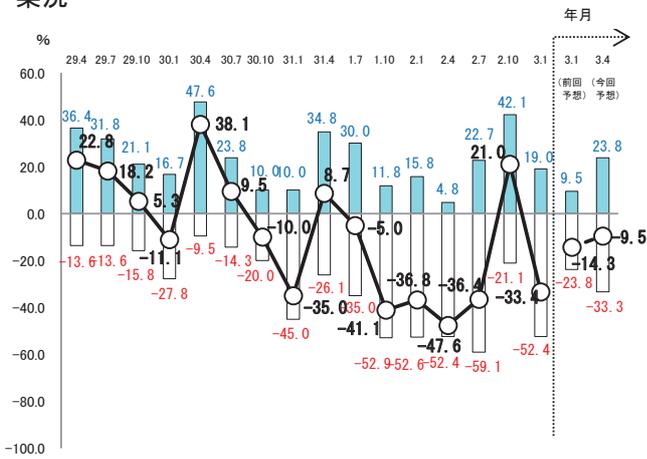


収益率

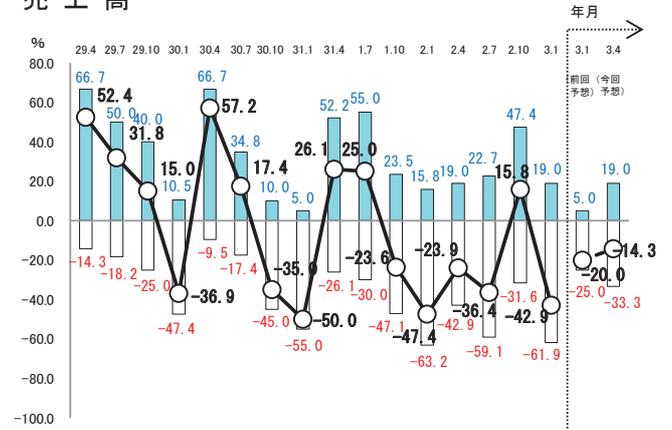


工 卸売業

業況

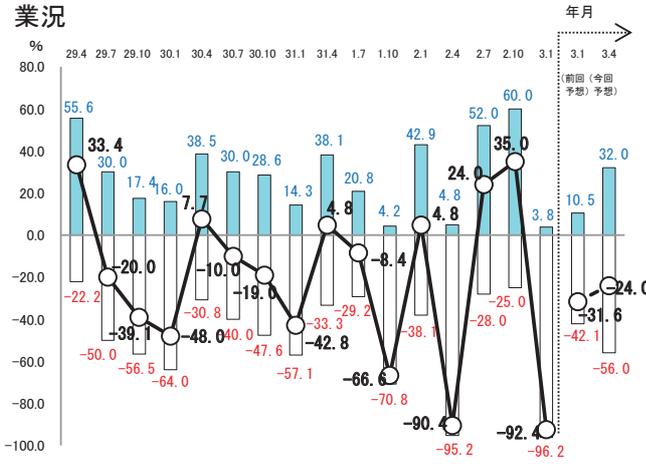


売上高

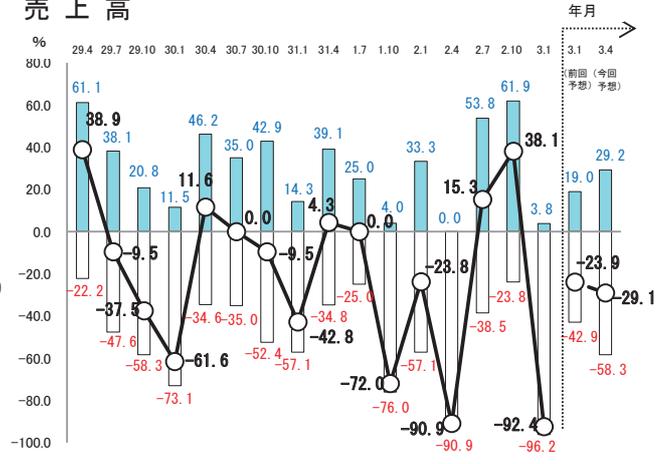


才 飲食業

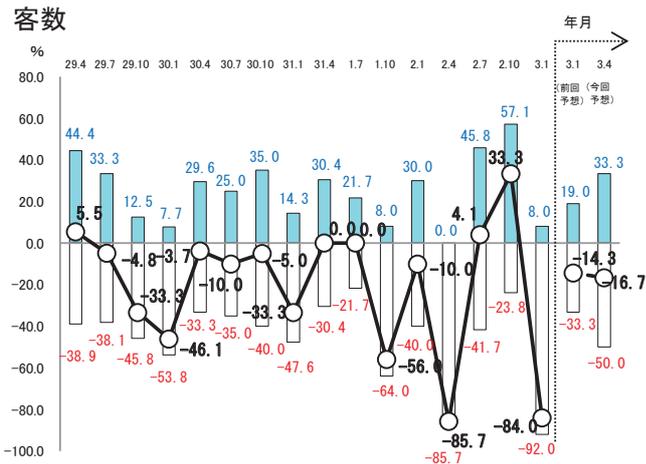
業況



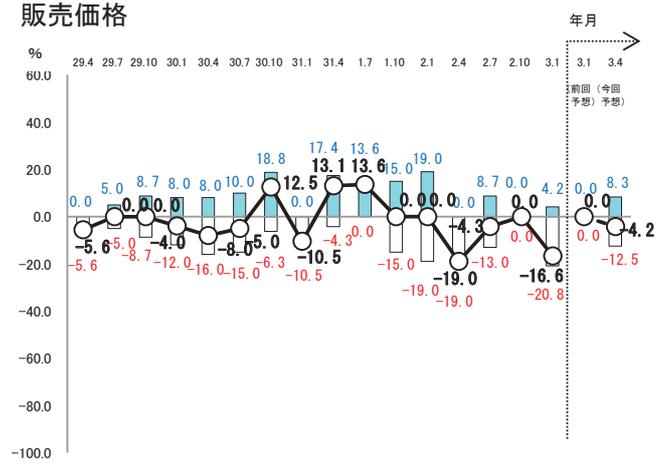
売上高



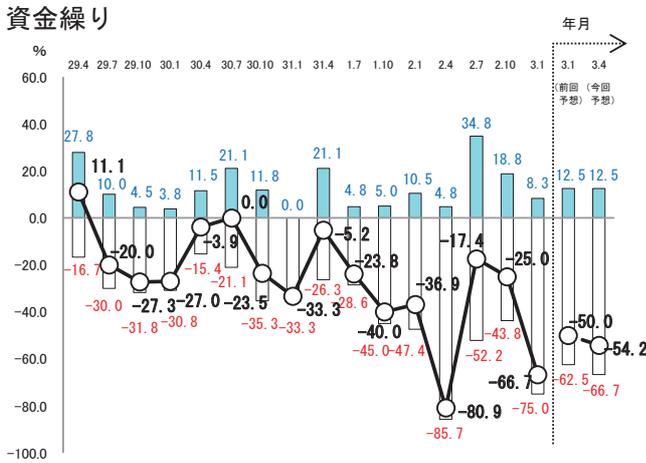
客数



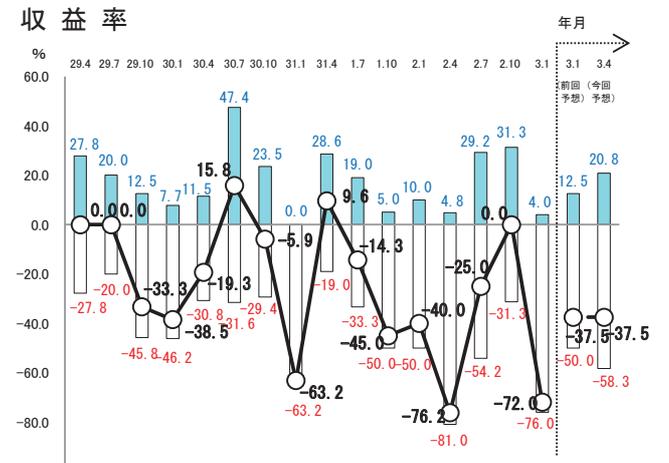
販売価格



資金繰り

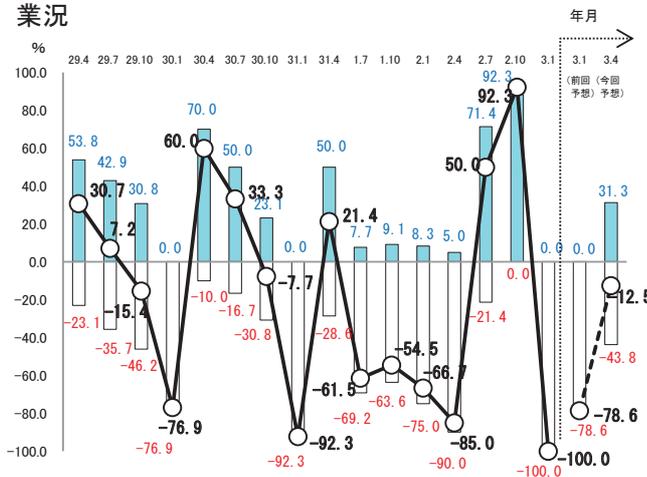


収益率

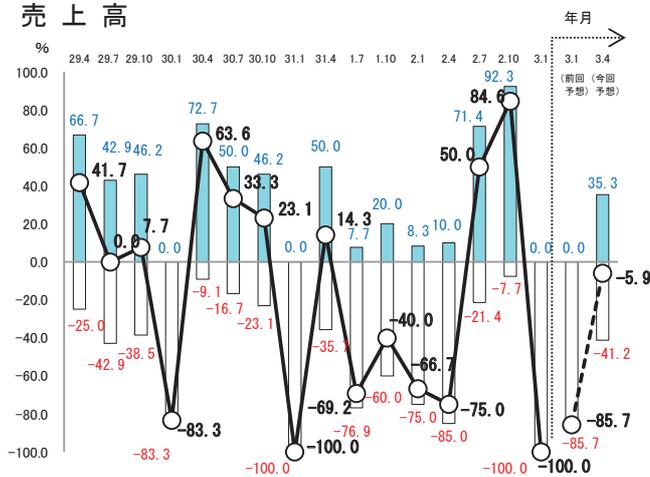


力 宿泊業

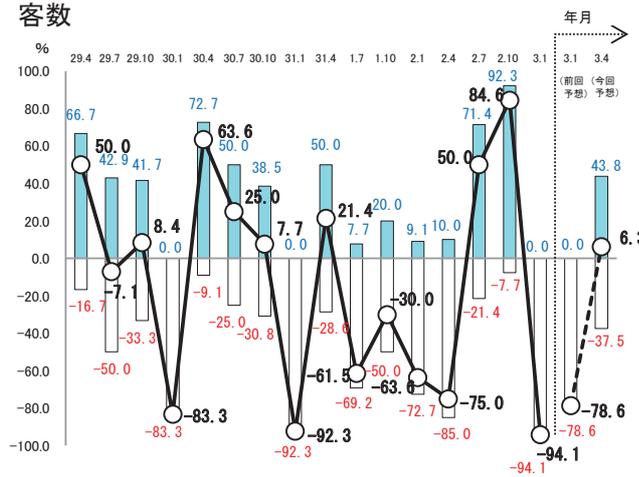
業況



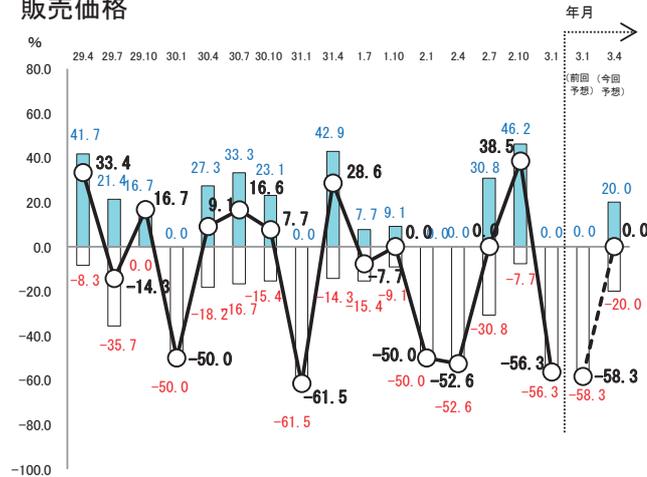
売上高



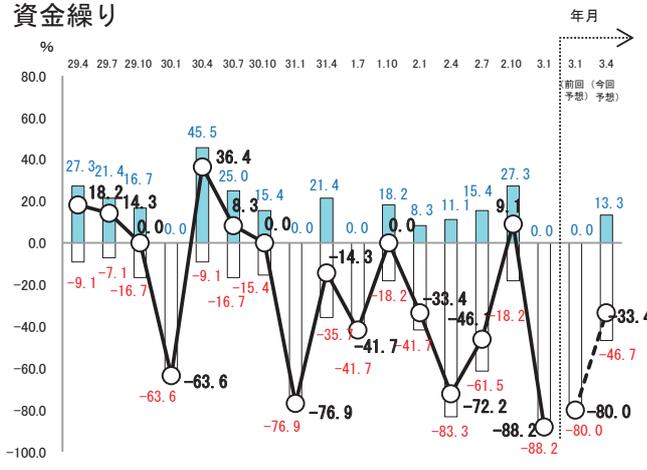
客数



販売価格



資金繰り



収益率

